

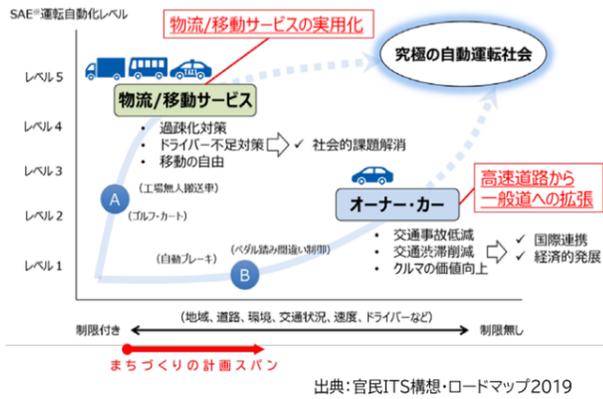
都市空間における自動運転技術の活用に向けたポイント集（概要）

- 自動運転技術が本格的に社会実装される時代を見据え、まちづくりとして目指すべき政策の方向性や取り組むべき施策に関する考え方を令和7年5月にポイント集としてとりまとめた。
- 都市部において4つの都市空間タイプを想定し、望ましい都市像の実現に向けた自動運転技術活用のための対策ポイントについて、自動運転車両の混在期・非混在期の時間軸で提示するとともに、まちづくりの計画へ自動運転の位置付け方を事例と合わせて紹介している。

普及が進む自動運転技術のメリットを最大化する都市政策が重要

自動運転技術は着実に進展。来るべき自動運転社会において、都市空間としての対応が必要。

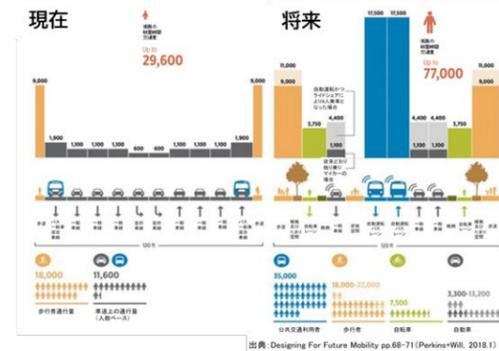
◇ 究極の自動運転社会実現へのシナリオ



道路混雑緩和や空間再編等のメリットがある一方、総走行距離の増加や移動に対する抵抗感の低下等といった留意事項も想定される。留意事項を踏まえつつメリットを最大化することが重要。

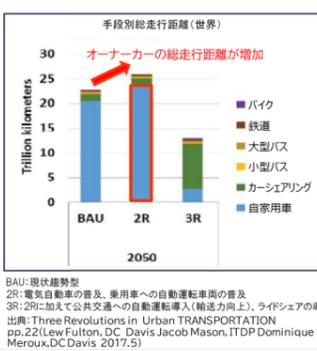
○メリット

街路空間を再編し、交通容量の拡大や、専用空間化による輸送の効率化が図られる可能性。



○留意事項

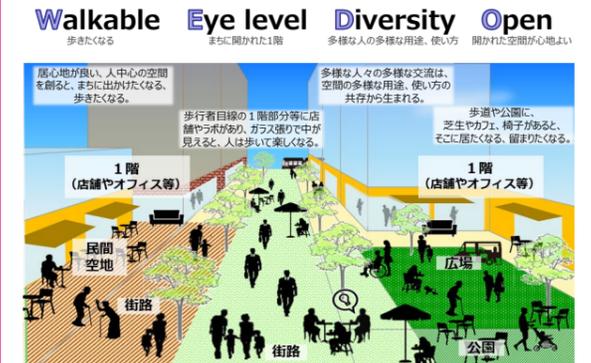
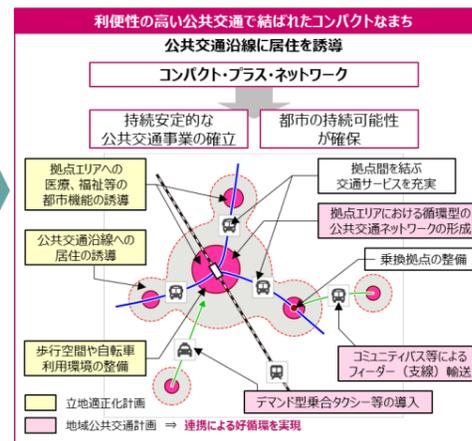
総走行距離が増加し、道路混雑が悪化する可能性。



自動運転技術が普及すると...

自動運転が普及しても 望ましい都市像は変わらない

都市政策としてコンパクト・プラス・ネットワークやウォカブルな空間づくりの推進は引き続き重要。自動運転はそれらを実現するツールとなるため、計画的な推進が重要。



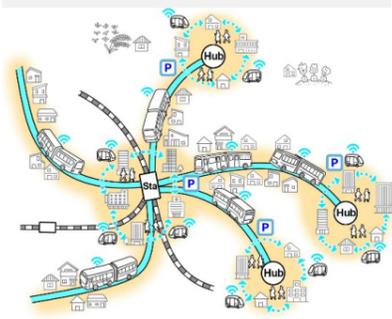
自動運転技術活用の対策ポイントを4つの都市空間別に時間軸で提示

4つの都市空間タイプを想定し、望ましい都市像の実現に向けた自動運転技術活用のための対策ポイント等について、自動運転車両の混在期・非混在期の段階的に提示。(※下図：②街路空間と同様に他の空間も段階的に提示(本編を参照))

② 街路空間



① 都市交通



③ 駅前広場



④ 身近なエリア



まちづくりの計画へ自動運転の位置付け方等を提示

望ましい都市像の実現に向けた自動運転技術の活用には、関係者と目指すべき目標を共有し、役割分担を明確にして取り組む必要があるため、自動運転をまちづくりの計画へ位置付けることが重要。

《東広島市西条地域(都市拠点)の将来交通計画》

